

Rosa Plumula

ローザ・プルムラ

●茨城大学・大学教育研究開発センター



ニュースレター №4

学長がもはや教授でないと思ったのは、就任して間もない頃で、講義もできなくなった。その後、こういった規則も緩和の方向にあるとは聞いていた。

旧暦、学長として初めて教壇に立つ機会を与えられた。講義は4年半ぶりのことである。総合科目の中の“研究するよろこび”というフレッシュマン諸君相手の授業の1コマを担当した。私は本来、魚介類の有効利用を目指す水産物利用学を専門とするところから、フグ毒など有毒成分の実態について、いろいろなエピソードなども織り込んで話をしたわけである。その折、気になったことが一つある。それは終始、能面のように表情を変えない諸君がかなり目についたことである。疲れ切っているのか、全く別のことを考えているのか、それともフグ毒などサッパリ興味がないのか、など思いをめぐらしたが、正直言ってある種のショックを受けた。フレッシュマン諸君に、喜怒哀楽を含め、もっと自然に振る舞って欲しいと望むのは、果たして私のみであろうか？

(橋本)

新センター長就任

奥 達 雄 (工学部・設計工学)

2月1日付けでセンター長に就任致しました。教養教育は全学協力体制で進めるという本学の大学改革計画に則り、この任務をお引き受け致しましたが、大学での経験の浅い私としては、諸先生のご教示とご協力を得ながら仕事をすすめさせて頂ければと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

大学教育研究開発センターは教養教育の実施に当たっての企画調整を行っていく組織であります。教養教育は4年間にわたって実施することになってはいるものの、事実上はかなりの部分が1年次に集中しています。さらに1年次は学生諸君が大学に入学後最初に出会う場面であり、すべての授業、サークル活動、部活動等に関心を注いでいる時期であります。その意味で、学生諸君は、期待をもちながら授業等に出席しているものと思いますが、一方、1年

次の学生の教育を担当する教官の立場からいえば、彼らの期待に応えなければならず、非常に重要でかつ責任の重い仕事であるといえます。新入学の学生諸君に主として望むことは、主体性をもって学問に取り組み、思考力を養い、深めてほしいということであります。理系・文系を問わず、ある問題・テーマに対する大学の内外での自主的な調査・実験・実習・研究などの活動が自ら学ぶことの重要性を伝えてくれることになると思います。「主題別ゼミナール」はそのひとつの役割を果たしてくれるものと期待されます。実施方法・内容については今後共通的に考えていくべきことがあるように思います。このような点も含めて教養教育の実施について考えていく所存です。教官各位ならびに学生諸君のご協力といろいろなアイデアのご提供を、また種々の問題に対する御教示を切にお願い致します。

「大学教育研究開発センター」って何？

茨城大学の「ハブ」になりたい

私は「茨城大学教育研究開発センター」。でも「茨城大学・大学教育研究開発センター」と名乗ったほうがご理解を得やすいようです。茨城大学の大学教育について、全学的立場から調査・研究・提案を行い、特に教養教育については、実施上の企画・調整を主な仕事としています。新入生の皆さんを迎えるにあたって、教養科目履修案内やシラバスを編集し発行しているのは私です。

本学の5つの学部は、それぞれ独自の教育理念と目標を掲げ、専門教育と教養教育を有機的に結合させた4年一貫の教育課程を実施しています。このうち教養教育については、全学の教官がそれぞれの専門分野に応じて何らかの形で参加する仕組みになっています。私の仕事は、各学部から提供される教養科目の授業を調整し、学生の皆さんが満足するような教養教育を準備

するとともに、落ち着いて勉学できる環境を提供することです。このためには、皆さんとお近づきになって、ご意見・ご要望を伺うことも大切です。履修相談や生活相談、授業に関する注文など、何でも結構ですから私のところに寄ってください。お待ちしております。

教養教育では、他学部の教官が担当する授業を他学部の学生と聴講する機会が多くあります。私の入居する共通教育棟は、5つの学部の教官や学生の皆さんが集まり、教養教育の理念とその実現を共通の課題としている場所です。茨城大学における恐らく唯一の共有空間です。最近の若者は、仲間うちだけで会話し、仲間だけの価値観、仲間だけの行動様式を持ち、他の仲間や異なる世代との交流をしない傾向があるようですが、茨城大学の学生の皆さんには、活発な相互交流をお願いしたいです。差し出がましいですが、私を、全学を結びつけるハブ(hub)として利用していただくことを期待しています。(朝野)

実はこうゆうつもりですが — 専門部会便り —

外国語科目専門部会

外国語科目専門部会は、本学の外国語科目の責任部局である人文学部コミュニケーション学科より2名(その内1名は専門部会長)、その他の学部から各1名の計6名の教官から構成され、本学の外国語科目のカリキュラム作成、外国語科目開講の為の予算案作成などを主な仕事にしています。外国語の開講本数は、既習・未修合わせて230本以上にも及び、今年度のカリキュラム作成は、既に昨年6月頃から始めていました。外国語科目は平成8年度にカリキュラムの大改革を行い、その結果、英語は、I、II、IIIともIC、EC、TRの3種類のクラスに再編成され、未修外国語に関しては、それまでは人文学部と理学部にしか開講

されていなかった中国語が全学部が開講され、更に朝鮮語とスペイン語が新たに未修外国語として開講され、未修外国語学習の選択可能性が一層増加しました。留学生の諸君には日本語のコースが開講されています。外国語学習は実践的運用能力の習得のみならず異文化理解と多角的視点の育成に不可欠であり、新入生の諸君は英語と未修外国語の両方を履修するようにお勧めします。なお本年度から、英検などの語学検定試験合格者には一定の範囲内で単位が認められるようになりました。また8月から9月の6週間カナダのマギル大学で英語集中口座が開講されますが、申込み及びプレースメントテストについては4月中旬以降に掲示されます。外国語科目改善に関する学生諸君からの要望・提案を歓迎します。(伏見)

健康・スポーツ科目専門部会

茨城大学では、1, 2年次の必修科目として「健康・スポーツ科目」があります。スポーツ等の実践を通して健康・体力の保持増進を図るだけでなく、教科書を読んだ上でのレポートが課されるなど、理論的な背景をおさえることも重視した科目です。また、他の学生と協力しながらスポーツに取り組むことは、特に大学に入学して間もない1年生にとっては、知らない人間と新しい人間関係を築き上げる上で貴重な時間となるでしょう。

1, 2年次には、学部・学科によって決まった時間に行われる4月のガイダンスに出席し、その時間帯に用意された種目の中からできるだけ本人の希望に従って、前期または後期のどちらか一方の種目を選択することになります。茨城大学の特徴の一つは、野外山野、カヌーなど、自然との触れ合いを重視した科目の他、ゴルフやエアロビック・ダンス等、非常に多様な種目が用意されていることです。そこが、高校までの保健体育の実技とは大きく異なることの一つでしょう。

(太 田)

情報関連科目専門部会

「HOMEPAGE」を初めて見て、「ほめばげ」と読み、「新種のはげか?!」、「なまはげの一種か??」と悩んだ人はいませんでしたか。今では「ホームページ」と読めない人はいないでしょう。「Windows95」、「WWW」、「netscape」、「JAVA」と新語が次々出てきます。このような激しい情報社会の変化に対応して、茨城大学は、情報関連科目を必修にしました。授業担当者は、最新の設備で、コンピュータ・リテラシー(コンピュータを文房具のように使いこなせる能力)を修得してもらおうと頑張っています。情報関連科目専門部会は、よりよいコンピュータ環境やカリキュラムを提供するために活動しています。『こんなことを学んでみたい』学生の皆さんと『こんなことを教えてみたい』先生方のサポーターです。ご希望、ご要望があれば、情報関連科目専門部会までお知らせ下さい。

(仙 波)

人文科目の目ざすもの

大学教育の改革により、従来の一般教育と専門教育の枠が撤廃され、4年一貫教育が実施されて5年目を迎える。わが茨城大学でも昨年度から一般教育を担当する教養部が解体し、人文学部が人文科目の責任部局となった。われわれは社会の幅広い教養ニーズに答えるべく努力を重ね、本年度も昨年並に1~2年生向けとして64本の人文科目を開講することにした。それにはコミュニケーション学科や教育学部の協力があって出来ることである。人文学部では語学系教官を除き、大半がこれに参加している。

人文科目の目ざすものは「全人的な人間形成にとって、人文科目は最も基本的な学科学目である」という理念のもとに、心の豊かさを得ることを重点目標として開講する。さらに条件が整えば、開講する科目を増して行きたいと考えている。

(茂 木)

社会科目専門部会

社会科学系一般教育の学び方・考え方

入学おめでとう。幸か不幸か、君たちが生きている現在、特に日本の現在は、深刻だけれど面白い時代です。それは色々なものが変わったとか、量的に変わったというよりもほとんど質的に変化しつつあります。すなわち、あらゆる領域で既存の枠組みの自明性が疑われるようになったことであります。

政治におけるハード中心の利益政治、経済における「日本的経営」、人生目標として考えられてきた大きな組織や会社に入ることに勤めることの自明性、それを準備するための小・中・高・大学教育、又これまでの結婚観、男女関係、家族のあり方、等々が一せいに自明性を喪失しはじめています。

学問というのは、社会の普通の仕事と同じように、答えがわからないことを何とかする、ということです。その答えを自分で探し、つくるための、これまでの人類が蓄積してきた知識、知恵、方法を学ぶのが、一般教育だと思います。社会科学はその中の特に人間の集団的な動きにかかわるものです。

社会科学系の一般教育の学び方では、一つは、M.

ウェーバーがいうように知ること自体が面白い、楽しい、ことがあります。これは是非享受して下さい。もう一つは、自分、あるいは自分をとりまく人間たちの、過去、現在、未来に関する軽い、あるいは切実な問題を頭において講義を聞くことだと思います。たとえば、自分の家族はどうなるだろう、就きたいと思う仕事のグローバルな背景もふくめた将来は、あるいは“自分の子ども”のあり方は、などなど。

通常は自分の生き方、夫としてのふるまい、職業人のふるまい方、などもふくめて答えが決まっていた、マニュアルがあった時は、自分の日常生活の自明性を疑うことは難しかったのですが、現在はその点は“楽”な時期です。

講義をする教官の知識や方法を自分の切実、あるいは軽い問題と組み合わせて、答えを考えて下さい。本人が言うのでまちがいないのですが、大学の教員は全体としては善意の人でやさしく寛容です。だから、講義中あるいは、その前後に、是非、自分の問題と講義の内容のさけめ、つながりから生じた、話したいことを、教員に話してみして下さい。ずいぶん新しい展開があると思います。(雨宮)

自然科目専門部会

分野別科目の自然の分野は「数学」、「統計学」、「物理学」、「化学」、「生物学」、「地球科学」および「現代の科学」の7つの授業科目を開講しています。前者の6科目ではそれぞれの分野特有の方法や視点を含めた基礎的な講義を行い、「現代の科学」では現代社会と自然科学とのつながりを考えた講義が用意されています。昨年センターでおこなった教養教育に関する基本調査によりますと、自然の分野についてはクラス分けや授業の程度、内容について学生諸君から不満がありました。授業については、内容が専門的すぎるという声が多かったようです。一方で宇宙関係や生物学の講義には学生諸君が殺到しています。自分の興味のある科目にかぎらず、幅広い分野の履修を希望しています。ところで、自然科学の多くの分野は実験を伴います。理系の学生諸君は専門科目で実験を受講しますが、文系の人

然科学の実験をおこなう機会がありません。そこで、今年度から実験を伴う講義を文系向けの「化学」と「生物学」で1本ずつたてました。将来的には、ビデオ教材などを利用した講義も大幅に取り入れられるよう、設備面の検討をしています。しかし大学では、講義を活かすには受講生である学生諸君の勉学努力も必要であることを忘れないでください。

(森野)

総合科目専門部会

平成9年度の総合科目では、目玉商品とでもいべき特別企画を四つ用意しました。名づけて<21世紀シリーズ>、<生涯学習シリーズ>、<学長・学部長特別講義シリーズ>、<体験学習シリーズ>の4本です。

<21世紀シリーズ>では前年度、『21世紀社会への提言』と題して、茨城県知事、水戸市長はじめ、各界の第一線で活躍中の方々を講師に迎え、大きな反響を呼びました。今年は、前期に『21世紀文化の創造』、後期には『21世紀の政治と社会』を開講し、再度、茨城県知事に登場して頂く予定です。

また昨年は、茨城大学・生涯学習教育研究センターと連携して、『今を生きる人間学』を開講し、一般市民と茨城大学生が一つの教室で学習するという新しい授業の形を創出し成功しました。今年もこの方向をより発展させて、パート2、パート3へと繋いでいきたいと考えています。

茨城大学学長・学部長の先生方を教室に招き、自ら研究者としての生活から得たさまざまな知識や研究生活への案内を特別講義していただく授業は、学生の皆さんからもアンコールの声が出ております。この授業もシリーズとして存続させていきます。

<体験学習シリーズ>では、夏季集中形式の授業『身体活動科学』を雄大なカナダの大自然の中で開講します。カナダ国立ローレンシアン大学を舞台に、茨城大学の若者たちの勇姿が輝く日を、私たちスタッフは今から楽しみにしています。(松井)

キャンパス情報

人文学部から

新入生の皆さん。入学おめでとうございます。それぞれに“夢と期待”を抱いて人文学部に来られたことと思います。入学時の新鮮な気持ちを失うことなく、4年間の大学生活を充実したものととして過して下さい。

さて、人文学部では、4月10日、11日の2日間、3学科に分けて履習ガイダンスを行います。4年間にどのようなことが学習できるのか（カリキュラム体系がどうなっているか）、また、当面、1年次の履習申請をどのように行うか等々しっかり説明を聞いて下さい。また、4月16日～25日の間、履習相談を受け付けます。自分が4年間かけてどれだけのことを学びたいのか考えながら、1年次の履習科目を選択して下さい。なお、各学科とも1年次必修の専門科目があります。これは単位を落とすと後が大変ですので、しっかり履習して下さい。ついでに書いておきますと、大学の教師というものは学生と話をするのが大好きだという人種です。講義の中で良く分からなかったところ等は、積極的に質問するようして下さい。

ところで、コミュニケーション学科2年生に連絡があります。8月から9月の6週間、カナダのマギル大学で行われる英語研修の参加申込みを4月中旬に予定していますので関心のある学生は、掲示に注意して下さい。

(有 泉)

教育学部から

入学おめでとうございます。待望の大学1年生、いま、どのように感じていますか。

茨城大学の教育学部は、大手優良デパートに例えられます。各階ごとにいろいろな専門売り場があり、楽しくお買物ができます。また、ウインドショッピングだけでも楽しいところです。生活必需品から高級品まで品揃えも豊富です。心からお待ちしています。でも、毎年のように2割位のお客様はお買物せずにお帰りになります。これは、自分だけでお買物ができない方がおられるからです。

大学は自分で学ぶところです。そのためには、高等学校までに修得した自己教育力をよりよく磨いてください。学問とともに、4年間で次の3つのことを会得されることを望みます。1つ目は、多くの友人との接触及び客観的自己（親友）をもつことです。多くの考えや行動に触れることから自己形成ができます。そのためにはクラブに所属することも考えて下さい。2つ目は、自分の趣味や特技を伸ばして下さい。一つのことで自信があれば、自信をつける過程を知っていることから、できないことでもできるようになります。苦難に打ち勝つ動力にもなります。3つ目は、当り前のことは当り前にできるようになってください。例えば、挨拶をする、ごみを散らかさない、掃除する、………当り前ですね。

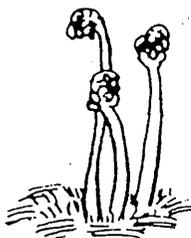
(小 室)

—◇—◇—◇—◇—◇—◇—

理 学 部 か ら

新入生の皆さんへ

入学おめでとうございます。これから4年間（長い人では大学院博士課程まで9年間にもなるかも知れません）宜しくお祈いします。この期間は社会人としての価値を高める極めて大事な時期ですから、自覚に基



づいた積極的な勉学・生活をお願い致します。

皆さんは理学部が現体制に変わって3回目の入学生です。私達にはそれなりの親しい体制になりつつありますが、数・物・化・生・地の区分でずっと教育を受けてきた皆さんには、やや戸惑いのある体制かもしれません。逆に、他に例を見ない斬新な学科名や講座名に、どんな新しい教育が受けられるのかと、期待している人も多いかも知れません。

現体制の最大の特色は、その柔軟なコース選択にあります。1年、2年の間は学科にとらわれない共通科目が多数受講出来ます。初歩ばかりを学び散らかすのは有益とは思えませんが、その間に自分の打ち込める分野、またそれに広がり、柔軟性を与える関連分野を発見、基礎を学んで下さい。

5講時制ですから、1学期間でも多数の単位が修得出来ますが、やはり専門教育のハイライトは、2年次後期以降の専攻科目です。オードブルの食べすぎでメインディッシュの頃は食欲なしは頂けません。なお2年次を終了する時点で専攻分野を見据えて、転学科をすることも可能です。

最後になりましたが、理学部校舎は脱靴、禁煙です。ご協力をお願いします。(川田)

—◇—◇—◇—◇—◇—◇—
工 学 部 か ら

「地域と連携した教育・研究環境の日立キャンパス」

新入生の皆さんへ、工学部における地域と連携した教育システム、①他大学との単位互換制度、②連携大学院方式による教育、③イブニングセミナーについてお知らせします。

①は茨城大学と日立市内にある茨城キリスト教大学およびシオン短期大学との間で定められた単位互換制度です。工学部とは雰囲気異なる授業に接することができ、単位取得ができます。受講料は無料です。

②は茨城大学大学院理工学研究科の教育方式の特色の一つで、周辺地域に立地する研究機関や企業に所属する研究者を客員教員に迎え、学生の講義と研究指導にあたっていただくものです。これにより学生に幅広

い教育と研究の機会を提供できます。平成8年度は日本原子力研究所、NTT、日立製作所から客員教員を迎えています。

③は茨城大学大学院理工学研究科・後援(財)小平記念会高尾基金により、地域に立脚した開かれた大学としての活動とリフレッシュ教育の一層の充実を目指し、企画されたセミナーです。毎週決まった曜日の夕方に、工学部で開催されます。開催日時と講演題目の詳細はイブニングセミナープログラムに記載されます。どなたでも参加でき、受講料は無料です。

爽りある学生生活を希望しております。(百瀬)

—◇—◇—◇—◇—◇—◇—
農 学 部 か ら

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。大学生になると勉学や私生活など全ての面で自由度が今までより増しますが、どうか何事も知的好奇心をもち充実した4年間を送るよう心がけて下さい。

この4月より阿見キャンパスでは、専門教育の新カリキュラムが2年次生を対象にスタートします。新授業科目の追加や科目名変更で各カリキュラムとも充実した内容となっています。新カリキュラムに伴う授業科目数の増加と阿見キャンパスでの新たな教養科目(情報関連科目、総合科目、主題別ゼミ)の開講により、授業時間割も満杯に近い状況となりました。

農学部の4月は、建物を取り巻く若葉と茨大通りの桜並木により、いかにも新学期らしい風景となります。2月の試験に来られた時のイメージと違った阿見キャンパスを見に来ていただきたいと思います。阿見キャンパスの主要建物は既に整備されましたが、福利厚生施設(食堂、売店等)や附属農場の家畜舎・機械器具庫などは未整備の状態です。皆さんが在学中にこれらの施設整備も順次進むことになるでしょう。また、実験設備・装置も毎年充実されています。例えば、平成8年度は「組換え植物体育成用日長調節装置付きファイトロン」が設置されました。数年後には、素晴らしい教育・研究環境が整った農学部になると思われれます。(森泉)

私にとっての主題別ゼミナール

清水泰紀（人文学部，2年）

大学に入ると高校とは違い、とても多種多様な授業があります。その中でもぼくにとって少し特別なものになるのが主題別ゼミナールです。普通の授業と異なるところはいろいろあると思いますけど、一番異なるところは“参加している”という意味にあるでしょうか。ぼくのとっている主題別ゼミは生徒がたったの6人しかいません。だから先生のオフィスに生徒は集まります。とてもアットホームな雰囲気です。内容的には、一人がテキストに書いてあることを発表して、他の者がそれについての意見、質問などを発言していくという方式です。なので生徒の発言が授業を作っていくといってもいいでしょう。授業を“受けている”というよりは“参加している”という方がしっくりくるでしょう。ここで使っているテキストの内容はというと、マルクス主義やフェミニズムなどの思想から大衆娯楽の構造までと、とても分野が幅広く、興味を持てるものなので意見や質問も出しやすくなっています。たまに理解しにくいものがあると、先生が縦横無尽なジェスチャー付きの説明をして下さいます。

この主題別ゼミでは最終的にレポートを提出するのですが、学んでいる分野が幅広いので、例えば「ドリフターズ」が好きだったら「荒井注と志村けんの交替後の笑いの相違」なんてテーマでもいい。しかしテーマを決めるにしても選択する幅が広いので逆に何でも自分でしなければならぬ。つまり“与えられる”のではなく“自ら探す”ことにより自主性が養われます。あたり前のことですが、大学生になった以上はそういう作業をしていき、そうすることにより自分のアイデンティティを確立することが大事なのです。ぼくにとって主題別ゼミはその第一歩というところですよ。

菊池由美子（教育学部，2年）

私が大学で学ぶうえで決めていることは、決して妥協しないことである。つまらない講義でも、ちょっとしたレポートでも、真剣に取り組んで、本気で考えれば必ず自分のためになるし、実際勉強は楽しい。学ぶことが苦になるかどうかは個人の気持ちの持ち様だと

思う。せっかく大学にいるのだから、私は心ゆくまで勉強し、刺激を受けようと思っている。

さて、私が大学生活の中で最初に刺激を受けることになったのは主題別ゼミナールの授業である。テーマは「総合的見方と個別の見方」ということで、堅苦しい印象を持ったまま授業に望んだが、これが予想外に面白かった。私の所属する総合教育課程は今年度開設されたばかりであり、その分担当の先生方の意気込みが直に伝わってくるような気がした。授業の中では作業が多く、否応無しに考えることが要求されていて、さまざまな課題を取り上げながら「ものの見方」について学べる授業である。この授業を受けてみて、私のものの見方、捉え方も少なからず変わったと思う。というよりも、一つの事柄を考えるときに自分に自信が持てなくなってしまう。良くも悪くもそれほど影響を受けた授業なのである。そして、最後の課題として出されたものが「水戸キャンパスの空間利用調査報告」というものであった。私が選んだ題材は「キャンパス内の交通事情」である。テーマからは少しずれているが実際に問題は山積みされており、どうせ研究するならその後も利用価値のあるものをお願い、徹底的に調査・研究したつもりである。結果、今までの授業から学んだことを生かして、自分としても十分に納得できる、偏りのない考察ができたと思う。これが少しでも大学側に受け入れられ、環境改善のために取り上げてもらえれば、なお価値のある研究になったと思う。それは難しいことかもしれないが、大学という学びの場が一方通行にならないための最善の方法として、こういった、試行錯誤しながらの学生の小さな研究にも目を向けてほしいという感想を持った。学生の自主的な学習を目指すならば、それを受け入れる柔軟な態度が大学側にも求められるのではないだろうか。

杉山智美（人文学部，2年）

ゼミ＝今まで経験したことのない大学デビューの授業形式という観が強いが、実際まったくその通り。大学生してると感じられるひとときだ。ちなみに私が受講した主題別ゼミナールは簿記、他のゼミが問題演習中心なのに対し、このゼミは問題演習中心であったか

ら「学生間のやりとり」というゼミの醍醐味こそ味わえなかったか、簿記の知識が養われていくのがうれしくて結構楽しんでた。

□の字型に並べられた席に座れば正面は学生（もちろん教官の顔を拝める場合だってある）という点からして、ゼミはいかに学生の主体性重視の講義であるかが分る。皆が皆教官を正面にみる普通の講義と違って教官はサポート役。だが、なに、ゼミを厳かに発表す

る場と思っではいけない。時折みられる教官のお茶目なトークは場を和ませてくれるし、やろうと思えば教官ぐるみで会食することも可能（のはず）。「うちのゼミは白けてる」なんて言わず、ゼミ仲間と科目を越えたコミュニケーションを楽しもう。そこにゼミの原点があるように私は思っやまない。皆がそんな気持ちで臨めば、ゼミはさらにおもしろくなるだろう。まずは新しいゼミ仲間と話しかけてみて！

V o i c e

鎌田純也（理学部、2年）

1年生で入って来ると、まずサークル活動が気になるのでありませんか。サークルもいろいろあって一概には言えませんが、友人ができたり、新しいことに挑戦したりでいろいろ楽しいものです。

ですがそこには落とし穴もあります。入学当初は目標や夢をもっていたり、又はそれがなくとも大学に何かを期待しているのではないかと思います。それが、いざ授業をうけてみたら何かつまらない。大学ってこんなものか。そしてサークルでそういう仲間が集まると、みんなでなくさめ合いをして酒飲んで遊びまわる。これでいつの間にか時間が過ぎていって、後になって「こんなはずじゃなかった。」なんて言ったって大事な青春時代は帰ってこない。

大学は学問の場であるとともに、自分を見つける場です。寂しさを紛らす場ではありません。やりたいことがなかったらそれを見つけるために努力すればいい。本を読むのもいい。いろいろな先生の研究室を訪ねてみるのもいい。一人で旅に出て詩を書いてもいい。とにかくこの一瞬一瞬を大事に情熱をもって行動する。これが大切だと思います。家でござる寝てたって何もはじまらない。

新入生のみなさん、明るく楽しくやっいていこう。

榎原淳二（工学部、2年）

メディア通信工学科に合格したみなさん、おめでとうございます。これから、茨城大学で勉強するわけですが、学科の名前と違い、一年生のときは、コンピューター関係の講義はまったくありません。一年のうち、教養科目といって、いろいろな分野の勉強をします。これは、水戸でしかとれないものが多いので、なるべく多くとっておいたほうがよいでしょう。

大学とは、専門的な事を学ぶだけの場所ではない。ま

して、工学部なんか、2年次以上になれば、無理矢理にでも、あの寂しい日立校舎へ移動し、専門的なことをするのだから、いろいろなことに目を向けることができるのは、1年のときしかない。1年間、水戸校舎に通うのだから、いろいろな学部の人々と交流をもち、たくさんのことを学べ。もう私達は2年生。君らがうらやましいぜ。

熊田佳稚（農学部、2年）

この春、茨城大学に入学された皆さん、おめでとうございます。

私が期待半分不安半分の気持ちで茨城大学に入学したのが今年の春。大学生として過ごした時間はまだ短く、大学自体、私にはまだ未知の部分があります。

勿論大学について身に染みて分かったこともあります。例えば大学というところが、自分が受け身でいては何も得ることのできない所だということ。しかし同時に、自分がその気になれば確実に何か得られる所でもあります。自分のための学識であれ、信頼できる人間であれ、茨城大学に入学した以上は、大学という場と与えられた時間とを自分なりに活用して、価値あるものを見つけ出したいものです。

自分の心掛け次第で、大学生活は大きく変化するはず。常に前向きでありたいと私は思っています。

これはあと三年間の大学生活に臨む自分への希望でもあります。新入生にこの文を寄せるにあたっては、一年間を振り返るよりもこちらを述べるほうが私にはふさわしく思われ、そうさせていただきます。

最後に、私は結果というものはあくまでも、物事の後からついてくるものだと考えています。新しい生活への不安があるにしても、あれこれ思い悩まず、自分の思う通り前向きに進んでいけば、自分なりの結果は必ず実る。そういうものではないでしょうか。

教 養 教 育 東 西

General Education in Canadian Universities

There are a number of differences between studying in Canadian university or in Japan-- differences which are crucial both for those who teach in the institutions and those who study.

In Japan, students must write entrance exams for each institution to which they are applying-- and once they are within the university system, if they wish to change departments, must write entrance exams for each department.

In Canada, the marks student receives at the end of high school is used for university entrance. There are no further exams. Once accepted into university, the student has the freedom, depending on the number available places and his/her marks, to change departments. At no time does the university choose the programme for the student, although a student may have difficulty entering the classes of first choice because they may already be filled.

If a student wishes to go on to graduate school, the grade received for the university courses are sent on to the graduate school. Again, there are no further entrance exams.

As a result, the work the student does in university has serious weight. The professors feel the pressure as much as the students do to help the students attain their goal. If, for example, students are accepted into graduate school with good grades, but are poorly prepared in their field, then it reflects badly on the professors who taught them and on the university in which they studied. In the Japanese system, write entrance exams which have nothing to do with the university at which they are studying. Students can (and do) relax at university and prepare for entrance exams later.

Courses in Canadian universities are also structured differently. A full load is usually five courses. Each course may have between two and three hours of classes, so the number of class-time hours may be 15. Each course will usually require at least one full-length research paper (this may vary from 10, to 15, to 30 pages ; almost always the topic is student's own choice), and a final exam. Often there will also be a midterm exam. There is always a required reading list to prepare for the classes. The required reading list may carry with it required book reports.

Attendance may or may not be mandatory, depending on the professor's requirements, but doing the assigned work is.

In Canada, a student's undergraduate career may determine a student's future work career in a way not as usual here where, as noted above, students write entrance exams for a particular graduate school and where the simple fact of gaining entrance and graduating from a university is given more credibility. It is easier to gain entrance to universities in Canada, partly because there are more places, but because of the workload and the weight given to good grades, students must work harder to do well and to graduate.

(Linda Ghan)

掲 示 板 コ ー ナ ー

奨 学 金 制 度

「奨学金についての問い合わせは、学生部厚生課へ」

☎ 2 2 8 - 8 0 5 9

奨学金制度として、1)日本育英会、2)地方公共団体・民間団体の奨学金制度がありますが、いずれも人物・学業とも優秀で経済的理由により、学資の支弁が困難と認められる者に貸与されるものです。

1) 日本育英会

【奨学金の種類及び貸与月額】

- 第一種奨学金 無利子貸与
- 第二種奨学金 有利子(年3%)貸与
- 併用貸与 第一種奨学金の貸与を受けても経済的に著しい困難があると認められる者については、第二種奨学金を併せて受けることができます。

(注)大学院博士後期課程の場合は、第一種奨学金のみです。

区 分		入学年度	平成	平成
		7～8年度	9年度～	
学 部 専攻科	自 宅 通 学	38,000	40,000	
	自 宅 外 通 学	44,000	46,000	
大 学 院	修 士 ・ 博 士 前 期	81,000	83,000	
	博 士 後 期	112,000	115,000	

【出願資格】

第一種奨学生 …… 人物・学業ともに特に優れ、経済的理由により著しく修学困難な者

第二種奨学生 …… 人物・学業ともに優れ、経済的理由により著しく修学困難な者

出願方法

1年次(1次募集) }
2年次以上 } 掲示を見てください。
大 学 院 生 }

専 攻 科 生 …… 入学手続の際、お知らせします。

1年次 (2次募集) } 7月中旬, 掲示により
2年次以上(補充採用) } お知らせします。

※ 主たる家計支持者の失職、死亡又は災害等による家計急変のため、緊急に奨学金の貸与が必要になった場合は、随時出願できます。

【奨学金受領資格の確認】

奨学金の適正な交付を行うため、年2回、奨学生の受領資格及び異動事項等について確認を行います。確認期間中に手続きを怠った者については、奨学金の払込保留、廃止等の処置をとりますので、必ず確認を受けてください。

受領資格確認の期間

期 間 : 5 月上旬 } 詳細は掲示により
11月上旬 } お知らせします。

【在 学 届】

次に該当する者は、速やかに在学届を提出してください。

在学届を提出することにより、本学在学中は、奨学金の返還が猶予されます。

- ・高等学校で日本育英会の奨学生であった者
- ・貸与終了者で、大学又は大学院に留年している者

【進 学 届】

高等学校在学中に、平成9年度大学第一種奨学生採用候補者に決定されている者は、4月14日(月)までに進学届を提出してください。

進学届を提出した者は、在学届を提出する必要はありません。

2) 地方公共団体等

本学に募集の案内があったものについては、その都度掲示によりお知らせします。

本学に募集要項を送付してくる団体はごく一部です。希望する学生は、各自、奨学関係団体(県の教育委員会など)に直接照会してください。

《平成8年度本学へ募集案内のあった団体》

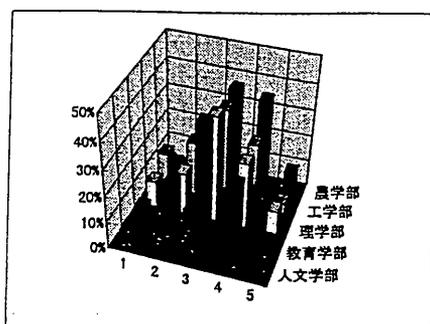
- 茨城県 (財)宮崎県奨学会
- 岐阜県 (財)川口育英会
- 宮崎県 (財)電通育英会
- 石川県 (財)大阪府育英会
- 新潟県 (財)中村積善会
- 富山県 (財)山口県奨学会
- 福島県
- 鹿嶋市

教養教育NOW

「Rosa Plumula」No.2で、教養教育についての基本調査Ⅰの調査結果を一部紹介しましたが、今回は後学期に行った基本調査Ⅲ、Ⅳのうち、特徴的な結果について紹介いたします。 (吉田)

予備登録の方法や結果についての満足度 (調査Ⅲ：設問8)

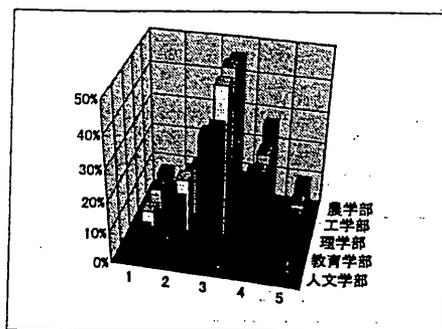
所属学部	人文学部	教育学部	理学部	工学部	農学部	不明	合計
1：非常に不満	14	13	12	25	2	0	66
2：不満だ	55	36	20	38	13	0	162
3：まあまあだ	93	79	48	68	30	2	320
4：満足だ	47	44	31	45	28	0	195
5：非常に満足	14	9	11	7	7	1	49
無回答	3	3	1	2	0	4	13
合計	226	184	123	185	80	7	805



後学期に新しく導入した予備登録については、前学期のクラス分けについての満足度とほぼ同じような結果となっており、今後更に改善することが必要ではないかと思われます。

授業内容は期待にこたえたか (調査Ⅳ：設問9)

所属学部	人文学部	教育学部	理学部	工学部	農学部	不明	合計
1：内容不足	14	11	11	22	10	0	68
2：----	56	41	34	41	17	0	189
3：平均的	179	111	97	144	68	1	600
4：----	129	76	44	70	40	0	359
5：内容が豊富	52	41	18	24	13	0	148
無回答	3	2	3	0	0	9	17
合計	433	282	207	301	148	10	1381



分野を超えた教養科目の授業内容満足度は、おおむね評価が高いことが分かります。さらに改善を志向します。

ティーチングアシスタントは有効だったか (調査Ⅳ：設問10)

所属学部	人文学部	教育学部	理学部	工学部	不明	合計
1：非常に不満	3	1	1	0	0	5
2：不満だ	1	1	1	1	0	4
3：まあまあだ	13	9	15	0	0	37
4：満足だ	28	16	20	0	1	65
5：非常に満足	28	34	27	0	0	89
無回答	0	0	1	0	2	3
合計	73	61	65	1	3	203

情報教育ではティーチングアシスタントの協力を得たが、それについてもおおむね好評でありました。

WWWと大学改革と

2月1日でセンター長を辞任させていただいた。準備委員会から21か月、大学改革に没頭してすごしたことになる。その間、勉強したいことが鬱積していた。WWWだ。●2月3日から本格的にとりかかる。ホームページを管理するにはHTMLを基本にして、ActiveXやVisual Basic Scriptなどを学習しなければならない。イメージやサウンドの加工ソフトウェアもずいぶん進歩しているという。21か月で浦島太郎になってしまった。●幸い、わが盟友、仲根健先生(数学・農学部)はネットサーフィンの達人だ。お願いして、国の内外を駆けずり回っていただくことにした。約1か月、数百におよぶ文献・資料・アプリケーションなどを、HTMLを中心に収集していただく。●バーニアから1 Mbを超える圧縮ファイルが数分で届く。

かと思うと、東京から数+Kbのファイルを取り寄せるのに、数時間もかかる。達人をもってしても、WWWいまだしといわざるをえない。●大学改革も事情は同じだ。重要と思われる事項があっけなく決定される。些細にみえる事項がこじれてついに結論が出ない。会議を重ねたわりには、私の改革の夢が20%実現されているかどうか危惧する今日だ。●最大の問題は、学生諸君の声をこの改革にほとんど反映できなかったことにある。学生、教官、事務官の間に太い光ケーブルの敷設が、切に期待される。WWWが理想どおり走る日は目睫の間に迫っている。大学改革が理想どおり走る日はいつになるのであろうか。

(農学部 谷口 晋)

教養教育舞台裏こぼれ話

こんなこともありました。

相手を思い遣る気持ちを大切に。

なかなか言うことはできても実行することの難しさ、
チョー難しい。

最近の学生はよく窓口で手続きで来る時には男女ペアで来るのをよく見るようになりました。お互いにアドバイスをしながら仲むつまじく手続きをすましていく、何ともうらやましい光景を見る。

その反面一人で窓口に来てカウンターの前をいった

り来たり何の用事があり来たのか意思表示をしない学生が多くなっていることも確かである。

どんなことでも分からないことがあれば窓口にいる事務に声を掛けてほしい、勇気を持って。私も老母心ながらそうゆう学生がいた時には、なるべく声をかけてあげるようにしています。

まず、男女ペアでなくともいいから大学生活で多くの友達を作る、良きアドバイザーとなる訓練もしてはどうだろうか。
(X・Y)

つ ぶ や き

新入生を迎え、大学が活気づく新学期に、新入生歓迎号をお届けします。今号は、あれも知らせたい、これも盛り込みたいと欲ばったためか、文字で埋めつくされたローザ・ブルムラになってしまいました。センターから皆さんへの想いが熱すぎたためとお許し願います。次号では「外国人留学生からみた茨城大学」を企画いたします。留学生の皆さんの寄稿をお待ちしております。バイバイ。
(H.O.)

発行日 平成9年4月

発行者 茨城大学

大学教育研究開発センター

水戸市文京2-1-1

029(228)8416〔企画室教養教育第二係〕